再評価結果（平成１６年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局 国道・防災課
担当課長名：中島　威夫

事業名	一般国道７号　琴丘能代道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：秋田県山本郡琴丘町鹿渡 至：秋田県山本郡二ツ井町駒形			延長	３３．８㎞

事業概要

国道７号は、新潟県新潟市と青森県青森市を結び、広域交流の支援並びに沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。

琴丘能代道路は、一般国道７号の自動車専用道路であり、秋田県北地域の交流促進、国道７号の交通混雑の緩和を目的としている。

Ｓ５８年度事業化	Ｈ７年度都市計画決定	Ｓ５９年度用地着手	Ｓ６１年度工事着手

全体事業費	約１，３００億円	事業進捗率	６６％	供用済延長	１７．１㎞
計画交通量	１５，１００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体) ２．７ (残事業) ７．７	(残事業)/(事業全体) 515/1,594億円 事　業　費：369/1448億円 維持管理費：146/ 146億円	(残事業)/(事業全体) 3,963/4,368億円 走行時間短縮便益：3854/4204億円 走行費用減少便益：　46/　84億円 交通事故減少便益：　62/　80億円	平成１５年

事業の効果等

・円滑なモビリティの確保（現道における混雑時旅行速度が20㎞/h未満である区間の改善が期待される）
・物流効率化の支援（重要港湾能代港へのアクセス向上が見込まれる）
他１８項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

琴丘能代道路は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、能代市をはじめとする関係３市１３町２村の首長で構成される日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会より早期整備の要望（平成15年11月14日）を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

【執行済み額】　事　業　費：８８０億円(進捗率 66%［暫定78%］)
うち用地費：１２０億円(進捗率100%)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地補償協議で時間を要していたが、現在は事業進捗に係る問題は解消しており、能代南IC～二ツ井IC間を平成１９年度（秋田国体）の供用を目標に事業推進を図る。

施設の構造や工法の変更等

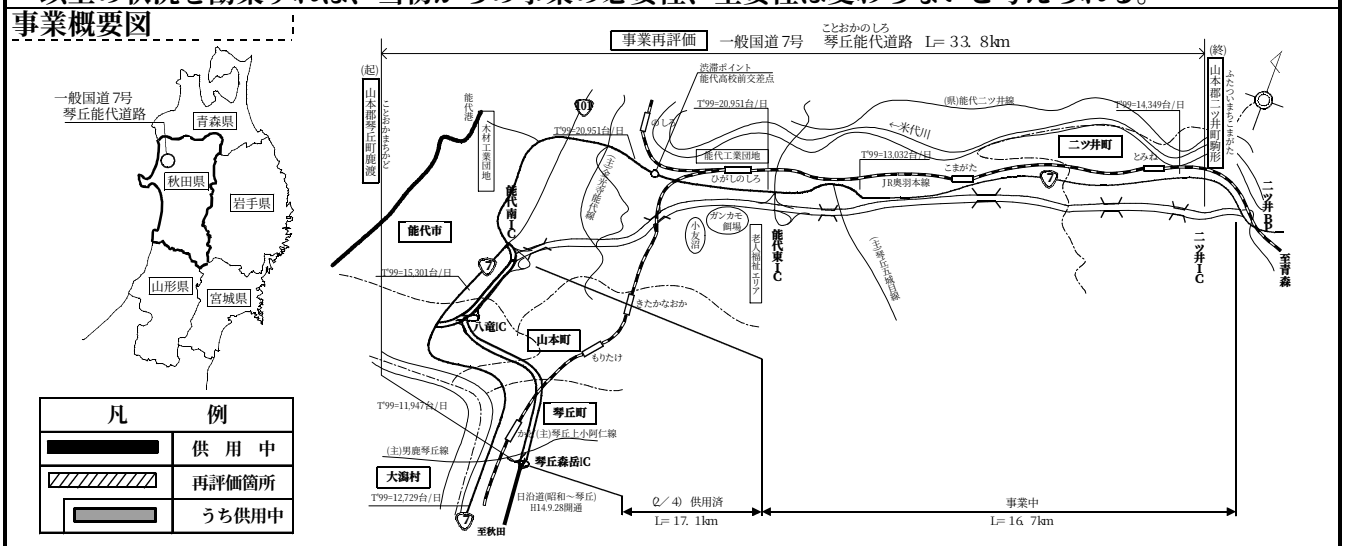
橋梁上部工において、少数主桁構造、耐候性鋼材を用いる等コスト縮減を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。